



## 平成 29 年度 ナナール事業報告

平成 29 年度につきましては、実施事業の変更はなく、生活介護（定員 30 名）、就労継続 B 型（定員 15 名）、宿泊型自立訓練（定員 20 名）、短期入所（定員 10 名）、共同生活援助（定員 13 名）総定員 87 名で運営をしています。また、年度当初に掲げた事業目標については以下となります。

- ① 人財となるべく職員の育成
- ② 障がい重度でも「はたらく=役割を持つ」をカタチにします
- ③ 新事業の開始（地域生活支援等拠点整備・共同生活援助の増設）

### 【 職員異動状況 】

入職 正規職員 2 名

退職 正規職員 2 名

パート職員 1 名

### 【人財となるべく職員の育成について】

生活介護事業等で求められる、介護福祉士の資格取得に向けた勉強会へ、法人の後方支援を頂き参加しました。結果、1 名が介護福祉士資格取得をすることができました。この取り組みについては重度化する障がいのある方の受入れ、また個別に課題を持つ方への支援技法の習得として非常に有効であると考え、今後も継続していきたいと考えます。また、職員としても施設内業務で完結し、他事業所、他分野との交流が比較的少ない傾向も鑑み、次年度以降は積極的に外部研修を導入したいと考えます。

### 【障がい重度でも「はたらく=役割を持つ」をカタチにしますについて】

生活介護の利用者の中には、個別にお気持ちを聞いた結果、「なんらかの生産活動に従事したい」「もっと社会的な活動に参加したいという」思いのある方もおり、個別に曜日を設定し、実際作業を行っている就労継続 B 型の事業所の活動に挑戦し、負担の無いよう座って進めることが可能な作業を行いました。やはり過去には就労経験もあることから熱心に作業に従事している姿が見受けられました。

現在は、個別体験的に行っていますが、利用者の思いを整理する中で日課への導入を試みる予定です。また、利用者の中には、自宅と施設を往復するだけの方もおる中で、個別、または集団での外出の機会を多く持たせ、社会の中にいる自分という感覚を思い出して頂く取り組みを行いました。

### 【新事業の開始（地域生活支援等拠点等整備・共同生活援助施設の増設）について】

平成 29 年度、サテライト型共同生活援助 2 床を創設し、11 月には一般就労しているグループホームの利用者がサテライト型へ移られております。これにより平成 28 年度より合計 3 名の方がサテライト型共同生活援助にて生活しております。引き続き、更に生活していく力が培えるよう支援を進めてまいります。また、今年度について短期入所の利用希望が比較的多いことから、緊急短期入所やご家庭の思いに沿えるよう短期入所事業の宿泊型自立訓練の空床利用の申請を行いました。

地域生活支援拠点等整備事業につきましては、今年度より上小圏域内で開始された虐待事案等の緊急受入れ事業になります。圏域内 6 事業所の輪番制で地域を支える仕組みになっており、ナナールについては 6 月、12 月



が当番月になります。現在のところ受入れ実績は圏域内でも0件ですが、引き続き受入れ体制の確保に努めたいと考えます。

平成30年度は、第5期障がい福祉計画が施行になります。また障がい者総合支援法も大きく制度変更すると予測されています。制度情報等は徹底して収集を行い、速やかに事業に反映し、利用者、ご家族の方々に不安を生じさせないよう取り組みます。

#### ナナーラその他の事業状況

平成29年度辞令交付	平成29年 4月 3日
ナナーラ 家族向け 平成29年度事業計画説明	平成29年 5月19日
平成28年度決算に伴う法人監事監査	平成29年 5月22日
全体職員会議 (平成28年度事業決算報告)	平成29年 6月30日
平成29年度 給食巡回指導	平成29年 7月 3日
敬愛学園実習受入れ	7月10日～ 11月末～ 2週間
上田養護学校生高等部先生見学	平成29年 8月18日
長野大学 見学・実習受入れ	平成29年 8月23.30日
東部中学校2学年職場体験	平成29年10月18.19日
上田養護学校事業所説明会	平成29年12月 1日
全体職員会議 (事業計画共有等)	平成30年 3月30日
養護学校研修実習受入れ	随時